

様式第7

基 本 財 産 担 保 提 供 承 認 申 請 書		
申 請 者	主たる事務所の所在地	
	ふ り が な 名 称	
	理 事 長 の 氏 名	
申 請 年 月 日		
資金借入れの理由		
借入金の概要 事業で行う		
資金計画		
担保提供に係る借入金	借 入 先	
	借 入 金 額	
	借 入 期 間	
	借 入 利 息	
	償 還 方 法	
	償 還 計 画	
担保物件		

(注意)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とすること。
- 2 記載事項が多いため、この様式によることができないときは、適宜用紙（大きさは、日本産業規格A列4番とする。）の枚数を増加し、この様式に準じた申請書を作成すること。
- 3 償還計画の欄には、償還についての年次計画を記載するとともに、その償還財源を明記すること。
- 4 担保物件の欄には、担保に供する基本財産を具体的に記載すること。
例えば、建物については、各棟ごとに所在地、種類、構造及び床面積並びにその具体的な用途を、土地については、各筆ごとに所在地、地目及び地積並びにその具体的な用途を記載すること。
なお、既に担保に供している物件をさらに担保に供するときは、その旨を附記付

記すること。

5 この申請書には、次の書類を添附すること。

- (1) 定款に定める手続を経たことを証明する書類
- (2) 財産目録
- (3) 償還財源として寄付を予定している場合は、法人と寄付者の間の贈与契約書の写

6 この申請書の提出部数は、正本1通、副本1通とすること。

7 資金借入れ以外の理由で、基本財産を担保に供する場合には、この様式によらないで、適宜申請書（左横書きとし、用紙は日本産業規格A列4番とする。）を作成すること。